

凜と立つ

誠心一筋に生き 人の幸せの支えとなれ
多治見西高校附属中学校だより N05
2017/8/28(月) 発行

実りの秋を迎えよう

校長 湯原 定雄

夏休みを終え、今日から授業が再開されます。

私の家のそばで夜には、ついこの間までうるさかった田んぼのカエルの声は、気がつくといつのまにか秋の虫の鳴き声になっています。また柿の実もまだ青いものの確実に大きくなっています。田には稲は色はまだ青いものの、すでに垂れた稲穂が刈り入れが近いことを示しています。

秋はもうすでにそこにきているのです。

鎌倉時代に書かれた兼好法師による『徒然草』には次のような一節があります。

「春が終わって夏が来る、夏が終わって秋が来るのでは、ありません。春は春であるときにすでに夏がきざしていて、夏のうちにすでに秋がその内部に準備されてはじまっているのです。……次の準備がその内側でなされているから、その新しいものが表れるのがとても迅速なのです。」

まさに季節の移り変わりの本質を語る、素晴らしい一節に思われます。

さて、学校では秋には大きな行事がまっています。今週末には「西華祭」。君たちはすでに夏休みのずいぶん前から準備を重ねてきた。夏休み中も、特別授業の日の放課後も各部門に別れ、3年生のリーダーシップのもと、皆で準備をしてきた。兼好法師が言うように「次の準備が、内側でされている」のです。この準備がしっかりされているからこそ、この9月1日・2日に大きな実りとなってあらわれるのではないのでしょうか。

10月14日の「体育祭」も同様です。実際の練習は西華祭が終わってからなのですが、すぐ練習ができるように、ずいぶん前から体育委員や応援団をはじめとするメンバーによって準備がすでになされています。それがこれからの練習をへて、大きな実りへ、体育祭の実現へ結びついていく。

さらには3年生は11月に今までの体験学習の集大成とも言えるような「沖縄研修」が待っている。実りの秋になってほしいと思う。

もうすでに日もずいぶん短くなり、これからはどんどん夜の時間が増えていきます。夜はじっくりと自分に向き合ったり、学習や読書を通して心のなかが大きく育つ季節。

生徒のみなさんが、それぞれの実りの秋を迎えられるよう、充実した毎日を過ごしてくれることを願っています。



夏休みのある日、部門ごとに西華祭の準備する生徒たち

9月の主な予定

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1日(金)・2日(土) 西華祭 | 20日(水) 会議のため全校一斉下校(バス 16:25) |
| 4日(月) 西華祭集会(1限) | 22日(金) 3年生沖縄研修保護者説明会(19時より) |
| 5日(火) 西華祭集会(4限) | 23日(土) 秋分の日 |
| 6日(水) この日より体育祭練習開始 | 25日(月) 3限授業 |
| 9日(土) 第2土曜日・休業日 | 26日(火)～28日(木) 前期期末試験 |
| 19日(火) 自主学习会(22日金まで) | 29日(金) 6限授業・命を守る訓練 |
| 20日(水) 3年生幼稚園実習(董幼稚園にて) | 30日(土) 第3回学校見学会 前期終了式 |

〈校長のひとこと……〉 西華祭 高校とつしよに開催する学校祭です

西華祭は、高校と中学で共催する学校祭。中学生も高校生の展示や体験、ステージを一緒に楽しみます。

中学生と高校生が一体となって楽しむ二日間です。中学生は、展示・演劇・体験の部門毎に別れて、準備を重ねてきました。一般公開はしていませんが、保護者の方はご覧頂けます。生徒の活躍する姿・楽しむ姿をごらんください。